

令和7年度 前期始業式『式辞』

新2年生から新6年生の皆さん。進級おめでとうございます。新しい先生方をお迎えして、いよいよ令和7年度がスタートしました。みなさんは、この長い春休みの間に、新しい学年になったら「何をがんばろうか」といろいろ考えたことと思います。「勉強をがんばろう」「本をたくさん読もう」「友だちと仲良くしよう」「運動して体を鍛えよう」など、それぞれが新たな目標をもち、ワクワクした気持ちで登校したことと思います。今、皆さんの顔を見てみると、どの人もやる気いっぱい輝いて見えます。ぜひ、今の気持ちを大切に持ち続け、これから先、「努力のたしざん」と「協力のかけざん」で自分の目標を達成してほしいと思います。

さて、みなさん一人一人が素晴らしく成長するために、そして、この笠間小学校がさらに素敵な学校になるために、みなさんにがんばってほしいことを3つ話します。

1つ目は「**あいさつ**」です。いつでも明るく元気なあいさつをしましょう。

ところで「あいさつ」を漢字で書くと、どんな字になるでしょうか。小学校では習わない難しい字になりますが、あいさつの「あい」には「心を開く」という意味があります。あいさつの「さつ」には「心に近づく」という意味があります。つまり、「あいさつ」には、「自分の心を開いて、相手の心に近づく」という意味があります。友達や先生、地域の人と仲良くなるために、自分から進んで、「おはようございます」「**ありがとう**ございます」「よろしくお願いします」など、明るく元気なあいさつをしましょう。

2つ目は「**あとしまつ**」です。勉強、遊び、給食、掃除、係活動、当番活動、など何かをするときに道具やいろいろな物を使うことがよくあります。その道具や物は、自分の持ち物だったり、みんなが使う物だったりします。使った後は、きちんと「あとしまつ」をしましょう。「あとしまつ」ができる人は、物を大切にできる人です。「あとしまつ」ができる人は、みんなのことも大切にします人です。そして、「あとしまつ」がきちんとできると、気持ちがよくなり、頭の中もすっきりして、次に使うときに、心地よく、さわやかな気分になります。みんなで「あとしまつ」ができる学校にしていきましょう。

3つ目は「**ていねいな言葉づかい**」です。友達を呼ぶときは、「〇〇さん」と呼びましょう。また、「〇〇です。」や「〇〇します。」のように「です」「ます」の話し方もしっかり身につけていしましょう。学校生活は、「言葉づかいの生活」でもあります。ていねいな言葉は、聞いている人も気持ちがよくなり、明るい気分になります。みんなで、ていねいな言葉づかいができる笠間小学校にしていきましょう。

今年も「あいさつ・あとしまつ・ありがとう」の3アップとプラスワンの「ていねいな言葉づかい」ができる笠間小学校を、みんなの力でつくりあげてほしいことを願い、式辞とします。

笠間市立笠間小学校長 加藤 宗治 2025/4/7